2026年11月9日

各 位

会 社 名 株式会社スタートライン
代表者名 代表取締役社長 西村 賢治
(コード番号：477A 東証グロース市場)
問合せ先 取 締 役 井上 剛
(email:ir@start-line.jp)

2027年３月期 第２四半期（中間期）業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2026年５月15日に公表しました2027年３月期第２四半期(中間期)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

１．業績予想の修正について

2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想の修正（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	3,052	34	1	△6	△1.68
今回修正予想（Ｂ）	2,949	101	69	30	7.26
増減額（Ｂ－Ａ）	△102	66	68	36	
増減率（％）	△3.4	193.0	－	－	
（参考）前年同期実績（2026年３月期第２四半期）	2,611	131	105	62	24.91

２．修正の理由

2027年３月期第２四半期（中間期）の売上高につきましては、INCLU、IBUKI、BYSN等の主力のサテライト型障害者雇用支援サービスは概ね売上計画どおりに進捗している一方、新規サービスや障害者福祉事業の立上げに遅れが生じていること、また、コンサルティングサービスが伸長しているものの計画に対して未達成であることによる影響で、前回発表予想を102百万円(3.4%)下回る2,949百万円となる見込みです。一方、利益面につきましては、売上高が予想を下回るものの、拠点開設費用の一部未消化や下期への期ずれが生じたことにより、営業利益は前回発表予想を66百万円上回る101百万円、経常利益は68百万円上回る69百万円、中間純利益は36百万円上回る30百万円となる見込みです。これらを踏まえ、2026年５月15日に公表いたしました第２四半期（中間期）の業績予想を上記のとおり修正いたしました。

なお、2027年３月期の通期業績予想につきましては、当中間期の業績動向及び下期の事業環境等を踏まえて精査いたしました結果、主力のサテライト型サービスは下期においても順調な受注を見込んでおり、立上げに遅れが生じていた新規サービスについても、販売実績が積みあがってきており、上期の売上高の計画未達分を十分に補えると見込んでいることから、現時点におきましては2026年５月15日に公表いたしました業績予想を据え置いております。今後、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

（注）上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

以 上